

貸借対照表 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

R4 借方(現在有する資産)	R3	R2	R4 貸方(資産の調達財源)	R3	R2
【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)			【負債の部】(将来の世代が負担する金額)		
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎等) 3,098億35百万円	3,104億39百万円	3,156億78百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金等) 1,047億98百万円	1,048億19百万円	1,094億23百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェア等) 2億75百万円	1億53百万円	1億69百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金等) 121億50百万円	127億32百万円	129億92百万円
3 投資等 (基金、貸付金、出資金等) 178億86百万円	187億69百万円	192億78百万円	負債合計 1,169億48百万円	1,175億52百万円	1,224億15百万円
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金等) 106億31百万円	98億98百万円	88億92百万円	【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)		
うち、現金預金 41億2百万円	39億59百万円	38億17百万円	純資産合計 2,216億79百万円 ②	2,217億8百万円	2,216億2百万円
資産合計 3,386億27百万円	3,392億59百万円	3,440億17百万円	負債・純資産合計 3,386億27百万円	3,392億59百万円	3,440億17百万円

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口196,748人に基づき算出)

	R4	R3	R2	R4-R3	R4-R2
●資産	172万1千円	171万1千円	172万1千円	1万円	0千円
●負債	59万4千円	59万3千円	61万2千円	1千円	▲1万8千円
●行政サービスの提供	47万3千円	47万0千円	53万8千円	3千円	▲6万4千円

基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

	R4	R3	R2
業務活動収支	73億66百万円	93億82百万円	65億92百万円
支払利息支出	3億98百万円	4億68百万円	5億83百万円
投資活動収支	△66億79百万円	△47億45百万円	△31億26百万円
基金積立収支	△4億89百万円	6億96百万円	△10億93百万円
基礎的財政収支	5億95百万円	58億1百万円	29億56百万円

行政コスト計算書

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

【経常費用】A	R3	R2
R4 960億80百万円	954億74百万円	1,116億4百万円
1 業務費用 (人件費、物件費、その他の業務費用) 483億31百万円	454億85百万円	451億40百万円
2 移転費用 (補助金等、社会保障給付、他会計繰出等) 477億49百万円	499億89百万円	664億64百万円
【経常収益】B		
1 使用料及び手数料 22億17百万円	21億93百万円	21億67百万円
2 その他 20億14百万円	15億3百万円	18億80百万円
純経常行政コストC(A-B)		
918億49百万円	917億78百万円	1,075億57百万円
臨時損失D 13億22百万円	19億65百万円	6億73百万円
臨時利益E 84百万円	4億62百万円	6億99百万円
純行政コスト(C+D-E)		
930億87百万円 ③	932億81百万円	1,075億31百万円

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率(負債/資産)

●将来世代の負担率

R4	R3	R2
20.01%	19.59%	20.44%

有形固定資産減価償却率(公共施設等の資産老朽化率)

R4	R3	R2
65.12%	63.55%	62.10%

資金収支計算書

「一般会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

前年度末資金残高	R3	R2
R4 32億55百万円	30億25百万円	17億2百万円
本年度資金収支額		
1 業務活動収支 (税込、補助金支出、職員給与等) 73億66百万円	2億29百万円	13億23百万円
2 投資活動収支 (公共資産整備支出、基金積立等) △66億79百万円	93億82百万円	65億92百万円
3 財務活動収支 (地方債の借入、地方債の償還) △5億38百万円	△47億45百万円	△31億26百万円
本年度末資金残高A		
34億4百万円	32億55百万円	30億25百万円
前年度末歳計外現金残高		
7億4百万円	7億92百万円	6億94百万円
本年度歳計外現金増減額 -6百万円	-88百万円	98百万円
本年度歳計外現金残高B		
6億98百万円	7億4百万円	7億92百万円
本年度末現金預金残高(A+B)		
41億2百万円 ①	39億59百万円	38億17百万円

純資産変動計算書

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

前年度末純資産残高	R3	R2
R4 2,217億8百万円	2,216億2百万円	2,209億44百万円
当期変動額		
純行政コスト(▲) △930億87百万円 ③	1億7百万円	6億58百万円
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金等) 927億1百万円	△932億81百万円	△1,075億31百万円
2 その他 (資産評価差額、無償所管換等) 3億57百万円	937億77百万円	1,082億21百万円
	△3億89百万円	△32百万円
期末純資産残高		
2,216億79百万円 ②	2,217億8百万円	2,216億2百万円

【4表の相互関係】

- ① 「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致
- ② 「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致
- ③ 「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

※一般会計等の内訳

【一般会計等】

- ・ 一般会計
- ・ 公園墓地事業特別会計
- ・ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計